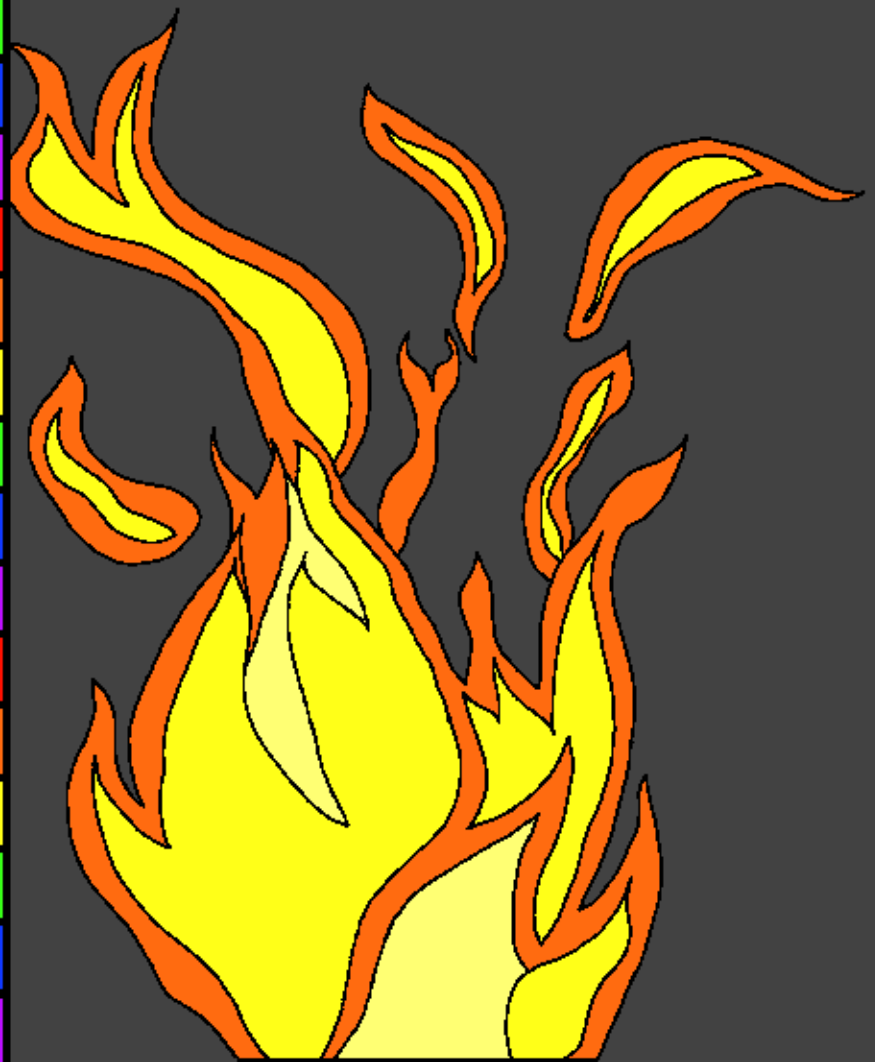
こども
子供のインターネットバイブル

あんない
案内いたします



ひ　おとこ
火の男

文(ぶん)：Edward Hughes

絵(え)：Lazarus, Alastair Paterson

改作者(かいさくしゃ)：E. Frischbutter

翻訳者(ほんやくしゃ)：Yuko Kajiki

監修者：Dan Ellrick

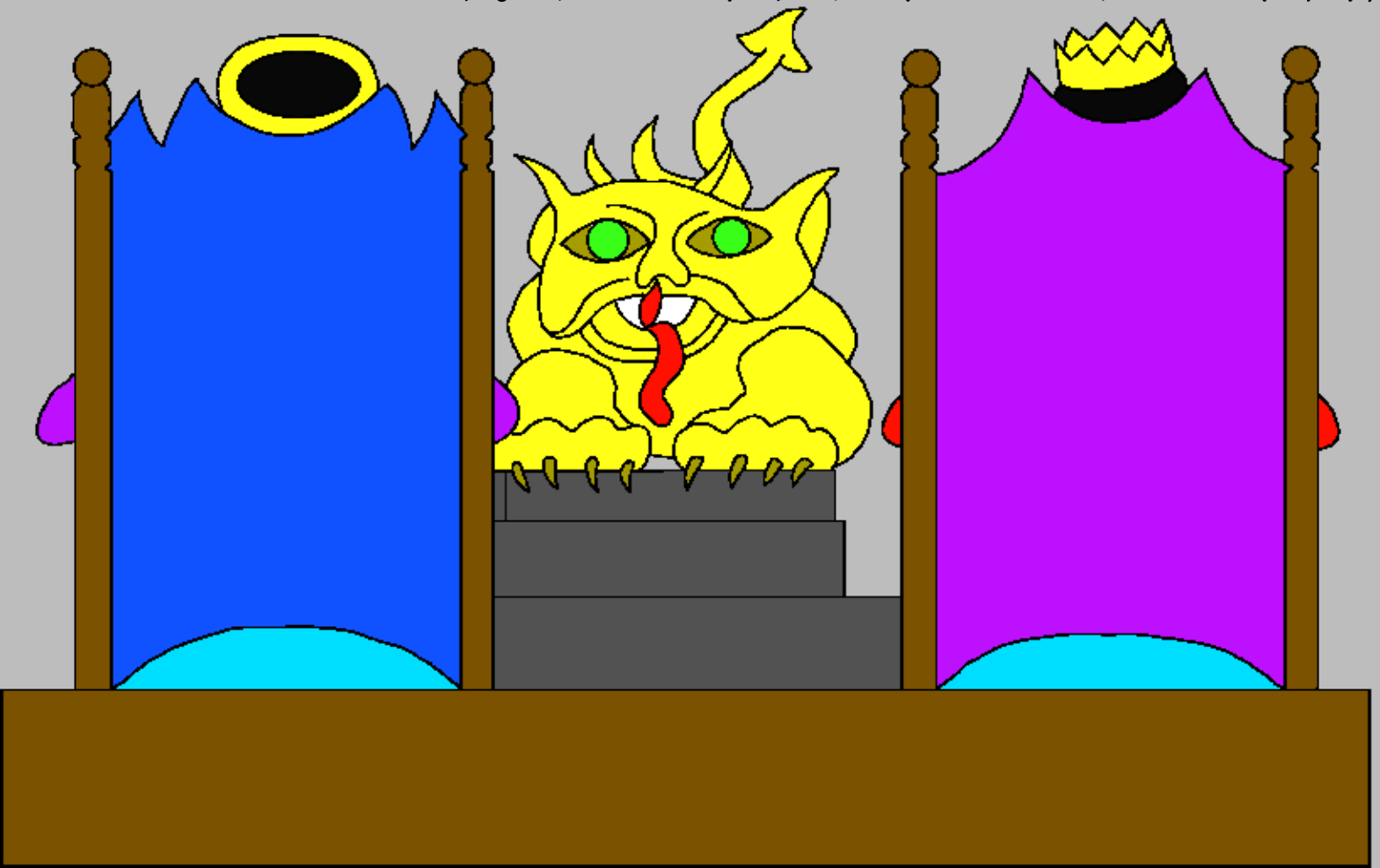
出版社(しゅっぱんしゃ)：Bible for Children

www.M1914.org

©2021 Bible for Children, Inc.

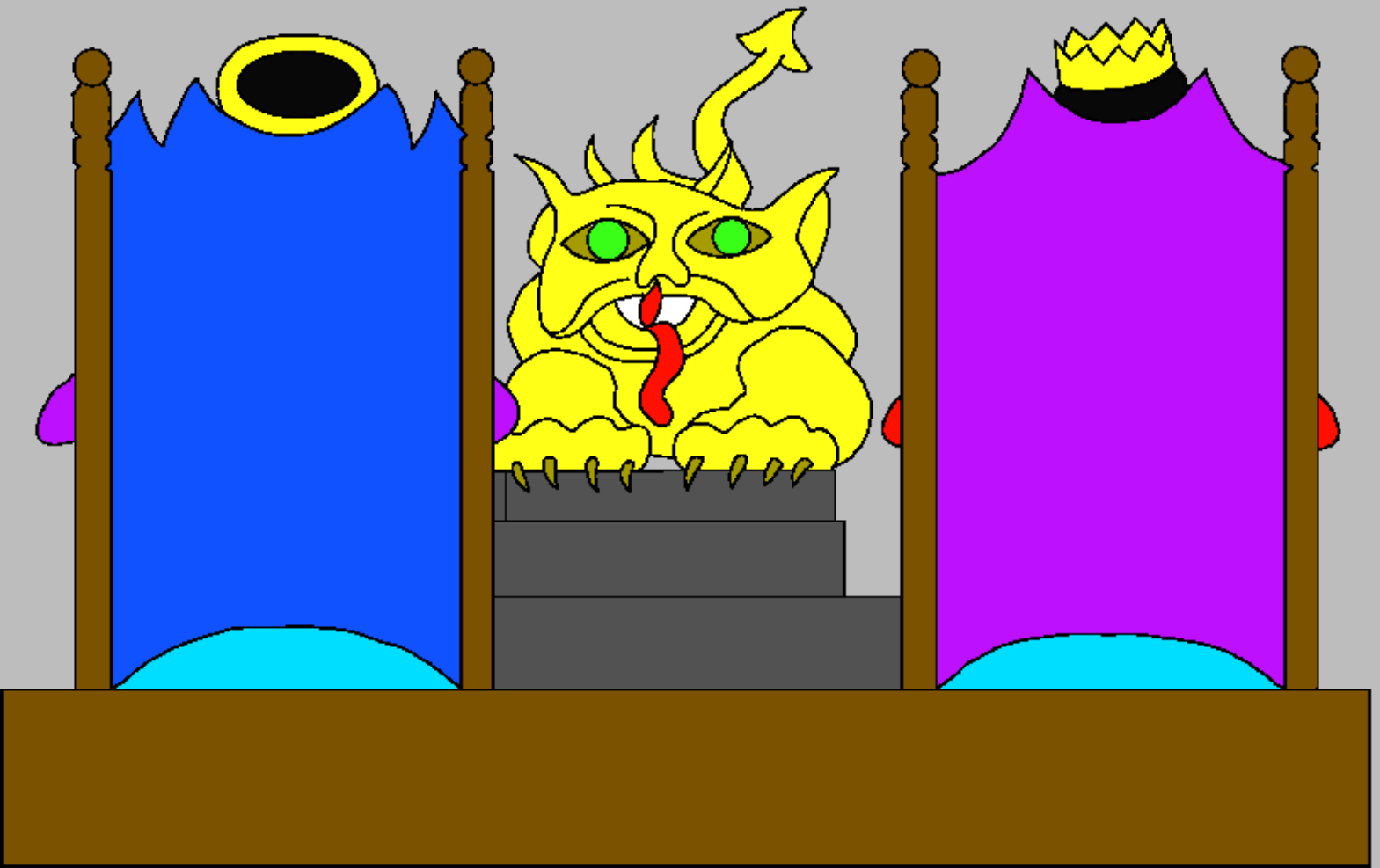
許可(きょか)：　他人(たにん)に売(う)らない限(かぎ)り　このお話(はなし)のコピー、又(また)はプリントは、許可(きょか)されています。

イスラエルの国の中は、たいへん。なにもかも、うまくいってないようです
よ。まず、王さまも、女王さまも、神さまが大きらい。二人とも、ほんとうに
よくないお手本です。だから、この国の人々も、また、神さまが、大きらいに
なってしまったのです。みんなは、すぐに、にせの神さまを、礼拝しはじ
めました。

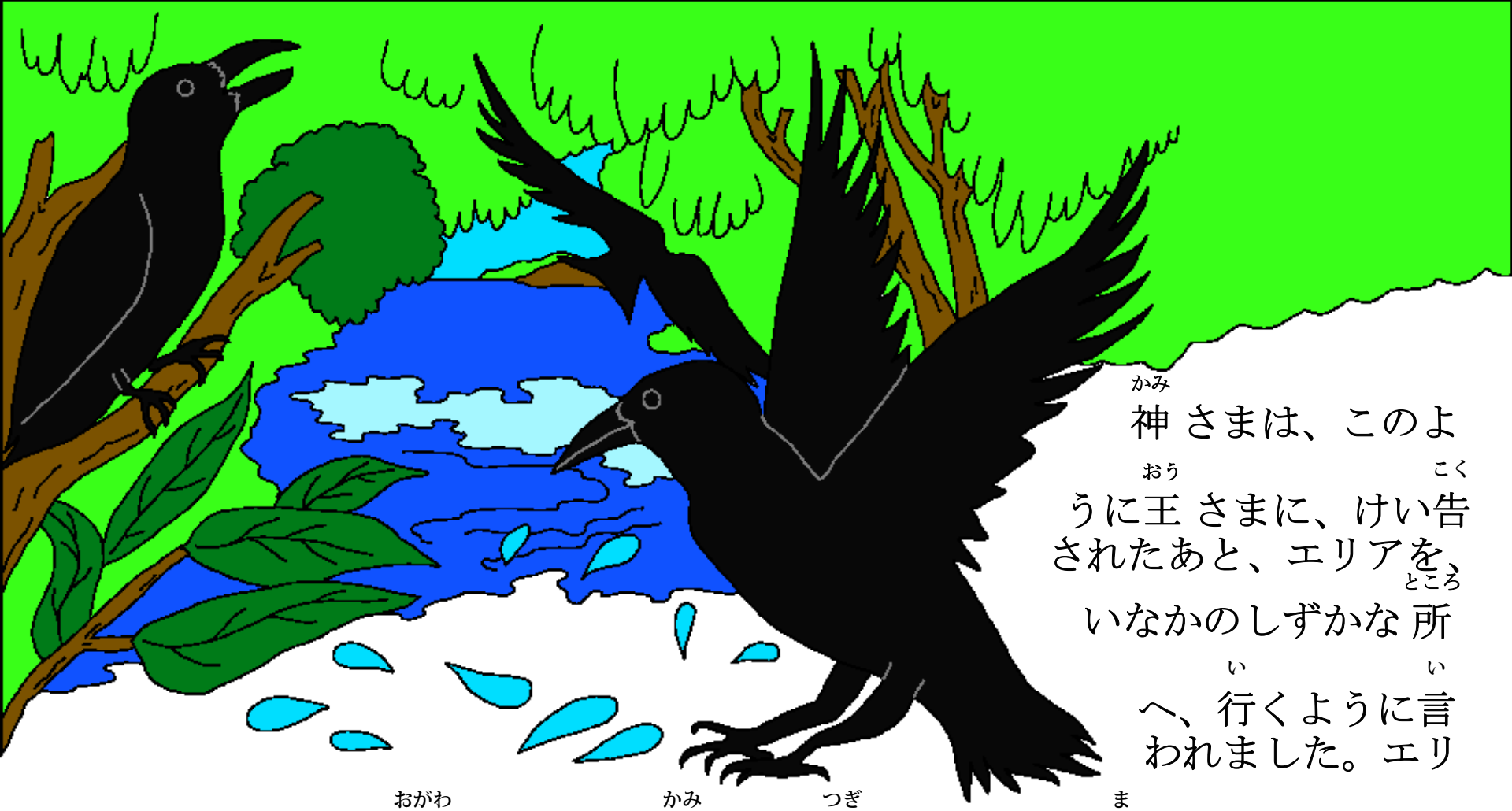


この国に、
だれか、
神さまを愛
する人が、
いるので
しょうか。

そう、いましたよ。心から神さまを信じ、礼拝する人たちが、ほんの少しだけいました。ある日のこと、神さまは、その中の一人に、話されました。その人の名は、エリア。



エリアは、ひどい王さまアハブに、言いました。「アハブ王、イスラエルの主なる神さまは、生きていらっしゃいます。わたしが、神さまの「よし」ということばを言わないかぎり、これから何年ものあいだ、ずっと霜もおりないし、雨もふらないでしょう。」これは、たいへん！ききんが、やってくるということですね。食べものが、なくなってしまいます。神さまは、悪いことばかりしているご自分の民を、そのままにしておかれないのです。



神さまは、このように王さまに、けい告されたあと、エリアを、いなかのしずかな所へ、行くように言われました。エリアは、そこの小川のそばで、神さまの次のことばを、待ちましたよ。

神さまは、カラスに食べものを、はこぶようにしてくださいました。

毎日、朝と夕方になると、カラスはパンと肉をもってきてくれます。

お水は、小川からくむことができました。

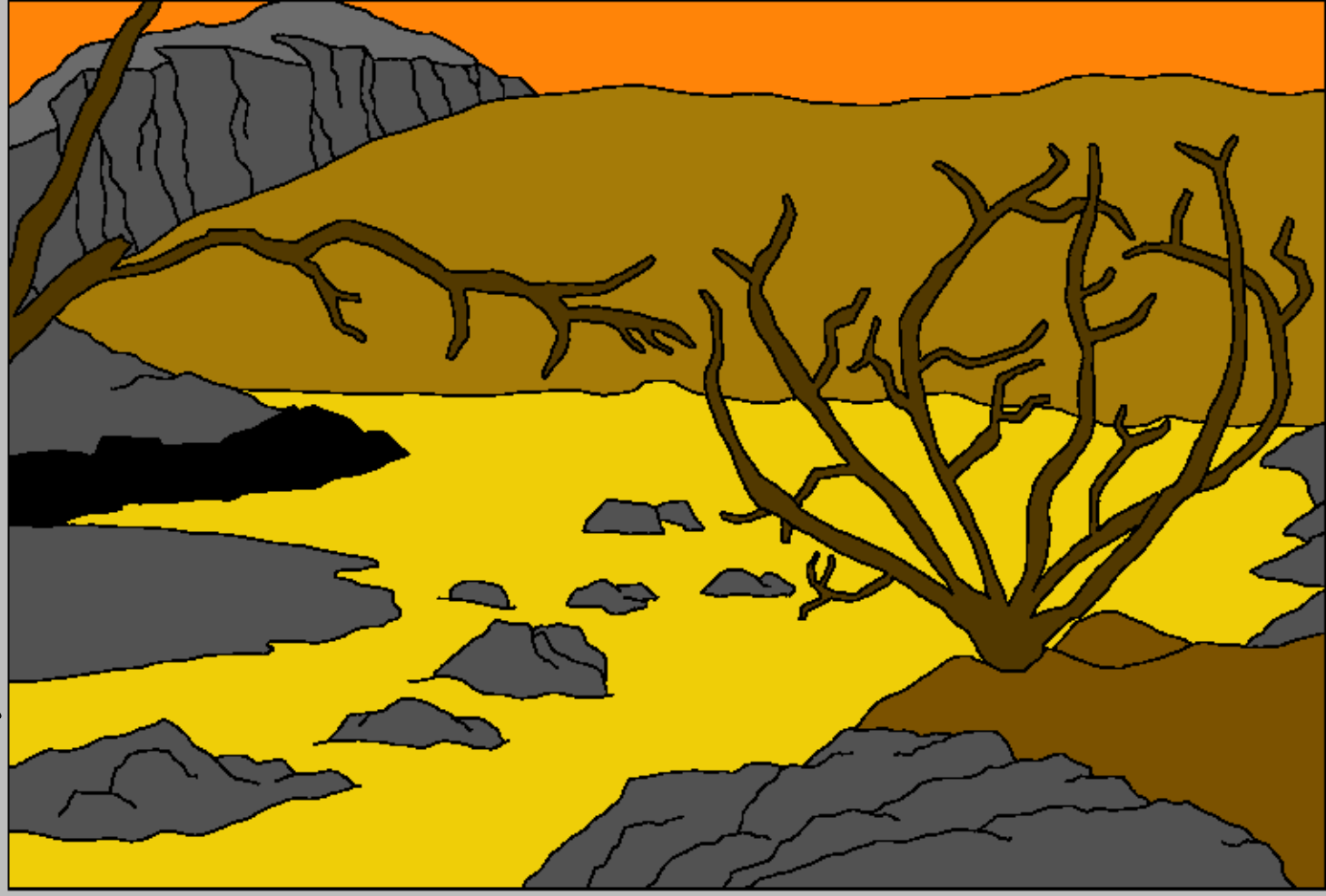
でも、

すぐに小川(おがわ)は、
カラカラ。
どうしてって、

一(いっ)てきの雨(あめ)も
ふらなかった
のですから。

神(かみ)さまのことばは、
ほんとうでした。

国中(くにじゅう)の水(みず)が、
たりません。



こくもつは、大(おお)きくなりません。人々(ひとびと)は、おなかがペコペコ。たぶん、

エリアも、思(おも)ったことでしょう。これから、どうなるんだろうって。

とうとう小川(おがわ)の水(みず)もなくなってしまったようです。

神さまは、エリアに言いました。

「さあ、エリア、立ち上がって、

サレプタへ、行け。そして、

そこで住むのだ。ごらん、
わたしは、ひとりのやもめに、
あなたのせわをするようにって、

命れいしておいたからね。」

神さまは、エリアに、

召し使いが必ようだと、
わかっていらっしゃいました。

でも、神さまって、

なんて、ふしぎな 方法で、必よう

なものを用意されるのでしょう。

とにかく、エリアはすぐに神さまにしたがいました。かれが、
サレプタにつくと、

その町の入り口では、
ひとりのやもめが、

たきぎの小さな枝を
あつめていましたよ。

「どうか、このコップに、水を少しいただけませんか。それに、パンもひと口、いただけませんか。」エリアは、

その女の人に、たのみました。

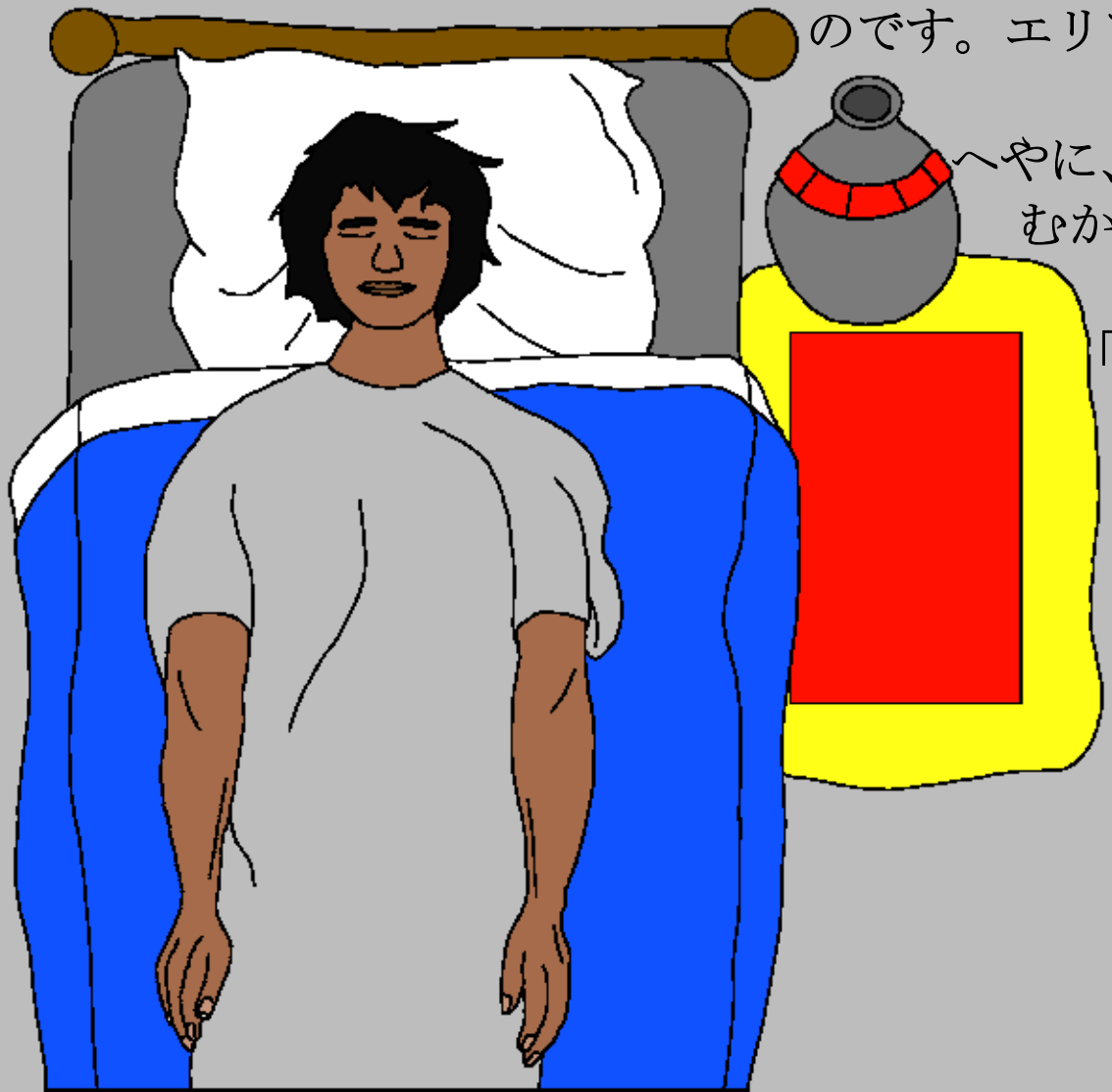
女の人は、こたえて言いました。

「パンは、ないのです。一にぎりのコムギ粉が、うつわの中に、ほんの少しの油が、つぼの中にあるだけなのです。」

女の人は、かなしそうに、よげん者エリアに、言いました。「これを食べてしまうと、わたしとむすこは、
食べるものがなくなり、
死んでしまうでしょう。」

「おそれることはない。はじめに、その粉で、わたしに、小さなケーキを作ってください。そのあとで、あなたと、むす子にもケーキを作ってください。」そしてエリアは、言いました。「コムギ粉は、なくなってしまうことはないだろう。油もね。主が、この地に雨を、ふらせてくださる日がくるまで。」神さまは、このために、きせきを、おこされ なければならないでしょうね。そう、神さまは、ちゃんとそうしてくださいましたよ。 女の人と、むす子は、それから何日ものあいだ、食べることができました。それでも、コムギ粉のうつわは、空になることはなく、 油も、たりなくなりませんでした。

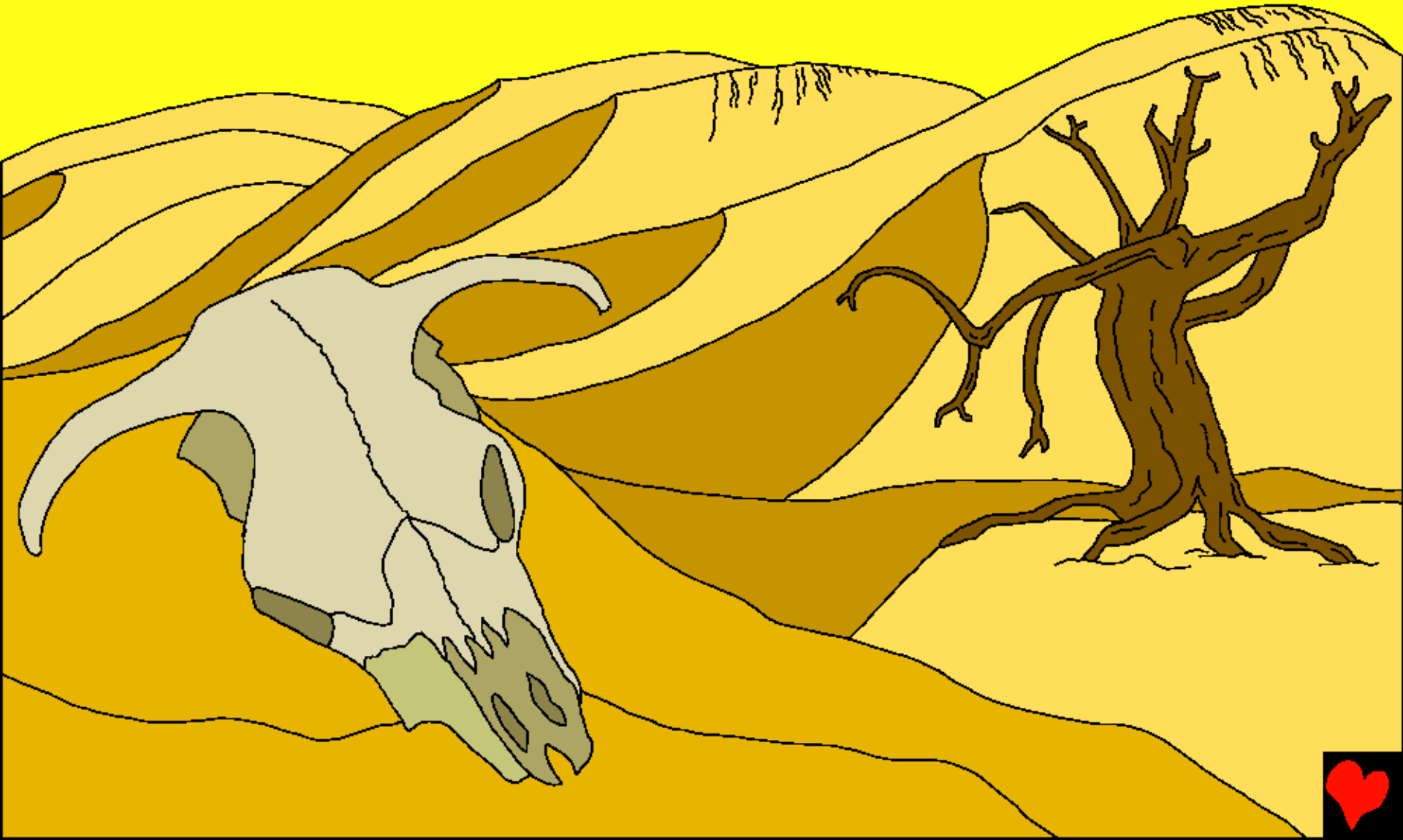
エリアは、やもめの女の人とむす子と、いっしょに住みました。ところが、ある日、かなしいことが、おこりました。そのやもめのむす子が、死んでしまったのです。エリアは、むす子の死体を、上のへやに、はこびました。そして主にむかって、さけびましたよ。



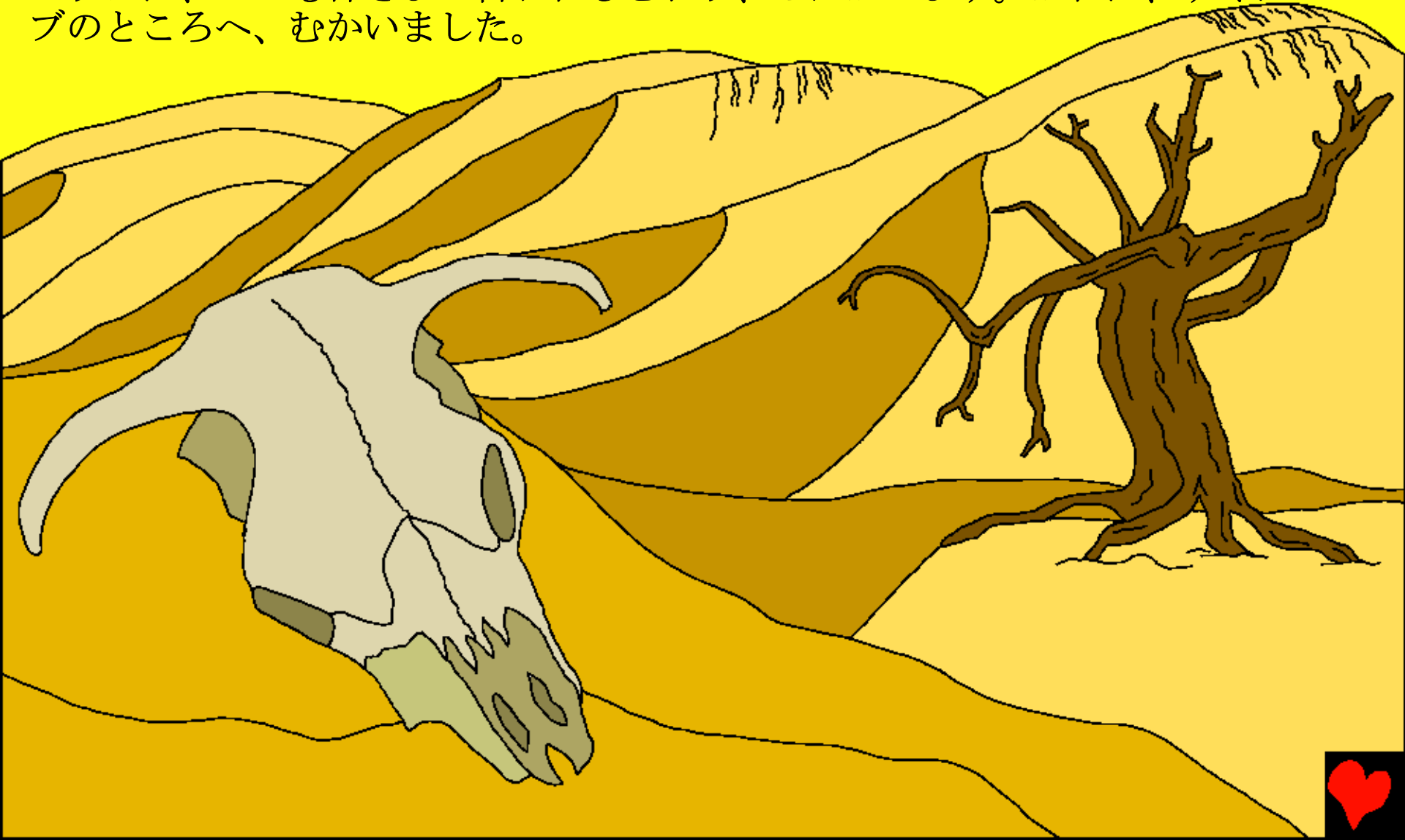
「おう、主よ、わたしの神よ！どうか、この子のたましいを、元にもどしてください。」あれあれ、エリアの祈りは、ちょっとむりじゃないのでしょうか。

でも、主は、ちゃんとエリアの祈りを、聞いてくださったのです。その子のたましいは、戻され、生き返りました。エリアが、その子をとり上げ、母おやに、わたしたとき、かの女は言いました。「わたしは、今、やっとわかりました。あなたの口から出る主のことばは、真実です。」

それから、３年たちましたよ。神さまは、エリアに、言われました。「王さまのところへ、行き、こう伝えなさい。わたしは、この地に、雨をふらせようと。」

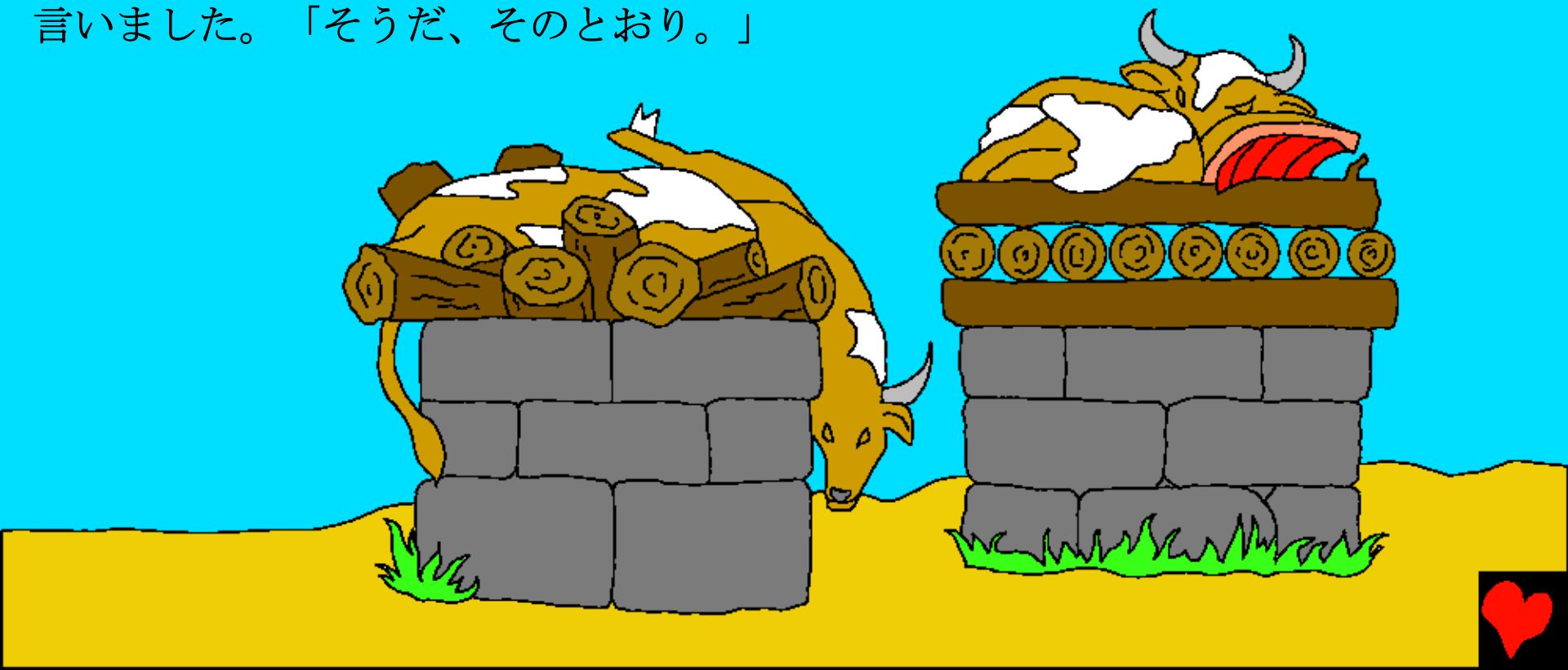


えっ、アハブのところへ？アハブのおくさん、イゼベルは、もうすでに１００
にん　しゃ　ころ
人ものよげん者を、殺しているのですよ。だいじょうぶでしょうか。けれども、
かみ　い
エリアは、いつも神さまの言われるとおり、したがいます。かれは、すぐにアハブのところへ、むかいました。



おう
であ
アハブ王とエリアが、出会ったとき、エリアは、
おう
せん
ひとびと
王にちょう戦し、イスラエルの人々と、
しゃ
にん
にせよげん者８５０人を、あつめる
い
ようにと、言いました。そして、
さん
クルメル山というところで、
ひとびと
む
人々に向かってさけびました。
しゅ
かみ
「みんな、もし、主が神さまなら、
しゅ
主にしたがうのだ。」

エリアは、いけにえに、２とうの牛を用意しました。けれども、牛には火をつけないで、たきぎの上に、のせましたよ。「あなたがたは、あなたがたの神を呼び、わたしは、主の名を、呼びもとめよう。」エリアは、言いました。「火によって、こたえてくださる神、その方こそ、神さまなのだ。」人々は、こたえて言いました。「そうだ、そのとおり。」



さて、朝から、夕ぐれまで、にせよげん者たちは、いっしょうけんめい。にせの神さまを、呼びもとめました。とびはねたり、おどったり、ナイフで自分にキズつけて血をながしたりしながらね。でもね、何をしても、火がつきません。

さて、こんどは、エリアのばん。エリアは、たきぎにも、いけにえの牛にも、水をぶっかけましたよ。あれあれ、みんなビショビショですね。それから、祈りました。「主よ、どうかお聞きください。ここの人々が、あなたが神であることが、わかりますように。」すると、主が、火をおこされました。その火は、ぱあっと燃え上がり、牛とたきぎにつき、石の祭だんまで、燃えつくしてしまいました。

それを見たとき、人々は、さけびました。「主よ、主こそ、神さまだ！」そこで、エリアは、言いました。「バアルのよげん者を、とらえるのだ。だれ一人として、ここから、にがしてはならぬ。」エリアは、アハブ王が、ずっとまえに、やらなければいけなかったことを、やりとげた のです。

エリアは、にせよげん者たちを、みんなころしましたよ。

それから、神さまのしもべは、アハブに言いました。もうすぐ、雨が、やってくるだろうと。まもなく、小さな雲が、見えてきましたよ。でも、ほんとうに 雨がふってくるかな？３年いじょうも、ずっとカラカラで、一てきの雨もふらなかったのだから。

しばらくすると、空が、くもと風で、もうまっ黒。それから、ひどい雨が、ふり出しました。とうとう、神さまが、雨をおくってくださったのです。神さまは、人々にエリアが、ほんとうのことを話していることを、示してくださいましたね。

みなさん、これでアハブは、神さまと、しもべエリアを、あがめるようになったと思いますか。いえいえ！

それどころか、アハブ王のおくさんイザベルは、エリアを、ころそうとしたのです。でもね、エリアは、うまくにげることができしたよ。そののち、アハブは、戦っているあいだに、とうとう死んでしまいました。

では、イザベルは？かの女は、召し使いに、高いおしろの上から、まっさかさまに突きおとされてしまいました。ドシン！石にはげしくぶつかり、死んでしまったのです。

さて、エリアは、それからどうなったのでしょうか。ある日、神さまは、エリアのところに、火の馬がひく火の車を、おくられました。　神さまに仕える火の男エリアは、その車にのりましたよ。そして、ぐるぐるとうずまく風とともに、たかくたかく天国へ、上っていったのです。

火の男

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

列王記上 17 章 — 19 章、列王記下 2 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

おわり

この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしってほしいと、
思っていらっしゃるのです。

神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しっていらっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

けれども、神さまは、あなたをとても愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしゃいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書３：１６